

データ作成時にご注意いただくこと【Adobe Illustrator 編】

Adobe Illustrator でデータを作成する際にお読みください。

テンプレートについて

ダイカットステッカー 80角以内 製品仕様：仕上がりサイズ：80×80mm 以内

diecutsticker_80_ver8.ai (IllustratorCS2 以前用 アートボード：86 x 86mm)

diecutsticker_80_cs3.ai (IllustratorCS3 以降用 アートボードサイズ：80 x 80mm + 断ち落とし設定 3mm)

データ作成時のチェックポイント

<レイヤーパレットについて>

レイヤー		
		> トンボ
		> アタリ
		> カットパス
		> カラー版

トンボ・アタリレイヤー

印刷に必要なトンボと、仕上がりの断裁の目安になるアタリのレイヤーです。

ここには書き込み等をおこなわないでください。

(誤作業防止のため、初期状態ではロックがかけてあります)

カットパスレイヤー

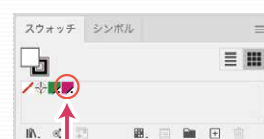
ここにカットラインを「パスデータ」で作成してください。

必ずスウォッチ内の「CutPath」を使用してください。

カラー版レイヤー

絵柄のデザインはこのレイヤーに行ってください。

このレイヤー内のものはすべて印刷されます。メモ書き等をいれないでください。



<仕上がりイメージ>



- アートボード内に自由にデザインを配置し、好きな形でカットできます。
- デザイン配置、カットラインの注意点については、次ページをご確認ください。

| カットラインについての注意

<デザインと仕上がりがアタリ、推奨範囲、カットラインについて>



※カットラインのパスポイント数は、**40ポイント以内で作成してください。**

- 必ず「カットパス」レイヤー内にパスデータで作成してください。
カラー版内にデザインデータと一緒に作成されても、カットラインデータとして使用できません。ご注意ください。
- カットラインは、テンプレートのスウォッチ内に予め入っている「CutPath」で作成してください。
(デザイン作成時には「CutPath」は使用しないでください。)
- カットラインは必ずクローズパスで作成してください。
- スタイライズやパスの変形など「効果」メニューで作成されたカットラインは、そのままではカットに反映されません。
必ず「アピランスの分割」を使用し実線に変更してください。
- カットラインはできるだけ滑らかにしてください。鋭角や複雑な形状は加工できない場合があります。
- ダイカットステッカーではドーナツ型のようにくり抜かれたデザインは対応できません。

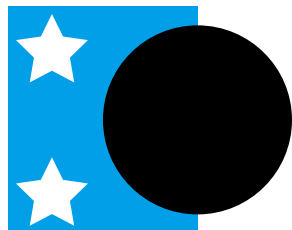
ご入稿前に次ページの「データ入稿前のチェックポイント」を必ずご確認ください。

｜ オーバープリントについて

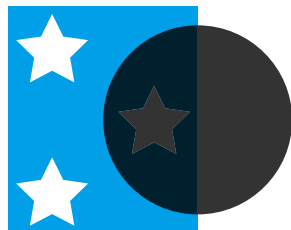
この商品は、黒色（K100%）のオブジェクトに、オーバープリント処理を行います。

オブジェクトが重なっている場合、黒色が透けて印刷されます。

オーバープリント処理を避けたい場合は、黒色（K100%）に別の色（シアン1%など）を加えてください。



デザインデータ



仕上がりイメージ

｜ データ入稿前のチェックポイント

- ・ カラーモードは、**CMYK**にしてください。
- ・ 全ての文字は、**アウトライン化**をしてください。
- ・ **パターン・効果・アピアランス**を使用する場合は、分割・拡張を必ず行ってください。
- ・ **4色ベタ（C100%/M100%/Y100%/K100%）**は、しないでください。
※意図的にリッチブラックを使用する場合は、C40%/M40%/Y40%/K100%を推奨します。
- ・ 画像は、**埋め込み・リンク**をしてください。リンクする場合、画像データも入稿してください。
- ・ 画像解像度は、原寸で**約300 ～ 350dpi**を推奨します。
- ・ 画像のカラーは、**CMYK**にしてください。
- ・ **テンプレートの情報（線・説明文・レイヤーなど）**は、移動・削除をしないでください。
- ・ **お使いのバージョン**で、保存してください。
- ・ カットパスは、**クローズパス**で作成してください。